

## ポルフィリオ・ディアス経済の危機

1907年、国内外へ粗糖を供給してきたHWベネット会社と、メキシカン・ナショナル・シュガー会社が倒産した。農民から取れるだけの土地を取り上げたモレロス州のアシエンダの生産は1908年から翌年にかけて7%落ち込み、砂糖の値段は世界的に急落した。メキシコの生産者は米国の保護関税と、キューバのアメリカ人生産者との価格競争に直面していたため、モレロスの農場主は負債を取り戻そうとして国内市場に売り込むと同時に、彼等から借地をしていた農民への要求を強めていった。クアウトゥラやアヤラの村落では、やがてサパティスタ革命兵士となる、路頭に迷った農民が溢れた。

国の中央部から北にかけての飢饉のため1907-10年、毎年20万トンのトウモロコシを輸入した。国境周辺の土地ではアメリカ向けの輸出用作物を栽培していたため、数十万トンのインディアン・コーンをアメリカから輸入してメキシコの貧困層に与えた。1908-09年、チワワとドゥランゴでも旱魃と、国内消費用作物への灌漑が不十分であったため不作となった。1909-10年、サカテカス、アグアスカリエンテスでも同じ状態となり、飢饉は近隣諸州へと拡大していった。政府が灌漑のために十分な資金を投入しなかった事、食糧を生産していた農民の土地が取り上げられ、輸出作物に転換したため、メキシコの農業は脆弱な体質に陥っていた。<sup>36</sup>

工業部門についても、その発展を外国資本に頼らざるを得ず、商業主義農業政策で追い出された農民を吸収するまでには至らなかった。資本集約型の外国企業は1895年から1910年までの間に、僅か8万2千人の新規雇用を創出したに過ぎなかった。アメリカがメキシコに投資した二十三%はチワワ、ソノラ、コアウイラの三州に向けられたが、この三州の人口はメキシコ全体の僅か1.5%に過ぎなかった。これ等の人たちは製造部門ではなく、昔ながらの仕事についていた。ディアス政府の最大の失敗は、外国資本投入により原材料の輸出と、生産性の向上に成功したものの、雇用を創出出来なかったことにある。国内経済に活気が無かったため、工業部門は余りにも小さく、外国資本に追い出された農民を吸収することは出来なかった。

1908年3月8日、メキシコ国有鉄道を開始し1億1千7百万ペソの負債を負い、メキシコの公的、私的債務は更に膨張した。ディアスとリマントゥールは均衡財政のみにこだわり、1909-10年、トウモロコシの緊急輸入に十分な予算があるにも拘らず、千5百万ペソしか割り当てなかった。節約主義の二人は社会不安の最中、支出予算の25%を占める利子を支払った上で、なお8千3百万ペソの余剰金を残した。政府は負債への支払能力を保持しようと、国民が政府の対策を切望しているときにも、社会福祉は一切行わなかった。<sup>37</sup>

経済成長の結果、世紀の変わり目には新しい政治・社会的グループが出現し、高齢者が要所を占めるディアス政府高官は時代遅れとなっていた。新しく現れた中産階級はナシヨ

ナリズムの信奉者で、国家主義政治を求め、政府が彼等の関心事に反応してくれることを期待していた。彼らは政治に関わることが出来ず、政府は彼等の要求に反応しなかった。プエブラ、コアウイラ、グアナフアトの州知事は革命勃発の15年前から政権にあり、其々が一族により固められていた。チワワのルイス・テラス知事は25年、其の他六七州では任期25年以上、トゥラスカラ州知事は最長で、ディアス大統領と同じ34年であった。<sup>38</sup>

新しい中産階級と都市労働者は社会改革と福祉を要求したが、ディアス政府は国家のイデオロギーに反するとして受け入れなかった。これらの中産階級は、アメリカから武器を調達するのが容易な北方のエリートたちを、同盟者と見做すようになっていった。この二つのグループと労働者は、其々が自由を求め、外国に牛耳られている国家尊厳の回復を要求し始めた。一方、農民は失った土地を取り戻し、彼等の村落から侵入者を追い出す運動を起し、他の不満グループと合体していった。ディアス政府は、1870年代の同盟者を主体とした一握りの高齢者集団であったため、意見を異にする新しい世代の台頭に気付かなかつた。間断なく続いた経済成長と、政治的成功の後、ディアス政権に危機が迫っていた。<sup>39</sup>

36. John Mason Hart, "Revolutionary Mexico, The Coming and Process of the Mexican Revolution, 10th Edition", University of California Press Berkeley, 1989, Ibid. P164

37. Ibid. P173

38. John Mason Hart, "Revolutionary Mexico, the Coming and Process of the Mexican Revolution, 10th Edition", University of California Press Berkeley, 1989, P176

39. Ibid. P177

[目次へ戻る](#)